

【 来島洲ノ埼灯台点灯式について 】

船舶交通の難所として知られる瀬戸内海の「来島海峡航路」に、この度新たに「来島洲ノ埼灯台」が新設され、2月22日、点灯式を実施しました。

安芸灘から燧灘に向けて通航する船舶にとって、来島海峡航路の「中水道」と「西水道」を分ける馬島北端が判別し辛い状態であったことなどから、過去にも多くの迷走船が発生しており、これを解消するため、「中水道」と「西水道」の中央分離帯の役割を果たす重要な航路標識として、来島海峡航路の中央部に位置する馬島北端へ建設された灯台です。

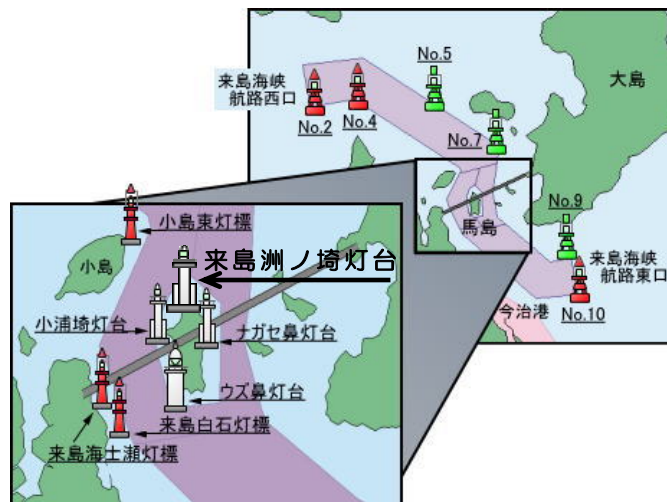
式典には、第六管区海上保安本部 三木 基実本部長、今治海上保安部 今井 忠義部長及び今治市 菅 良二市長をはじめ、海事関係者など約70名が参加、式典の中では、今治市内小学校児童から募集した灯台の名前を記した「記念額」に採用する「揮毫（きごう）作品」の審査結果を発表し、今治市立鳥生小学校6年生 中谷 美月さんに感謝状と記念額のレプリカを贈呈しました。

また、多くの関係者が見守る中、夕刻が近づいた午後4時30分頃、司会者の合図とともに、灯台のスイッチが入れると、毎6秒に赤1閃光緑1閃光の「船乗りの命の灯火」が静かにその輝きを放ち始めました。

この「来島洲ノ埼灯台」、来島海峡航路内の灯台としては、昭和36年3月に同じく馬島にナガセ鼻灯台が設置されて以来、50年ぶりの設置となり、海峡内の海難事故の減少に大いに寄与するものと期待しています。



来島洲ノ埼灯台



今治海上保安部長式辞



第六管区海上保安本部長挨拶



今治市長祝辞



海上保安協会今治支部長祝辞



揮毫者（鳥生小）中谷美月さん



入選者（鳥生小）
亀沖百菜さん 右、越智桃花さん 左



点 灯



記念撮影（サンライズ糸山 旧中渡島潮流信号所腕木式信号機前）